





～2024年3月期 第2四半期～

決算説明資料

「将来へつながる」道づくり ～選ばれる企業へ～

三井住建道路株式会社

目 次

-  1. 決 算 概 要
-  2. 決算詳細説明
-  3. 業 績 予 想
-  4. そ の 他

1 . 決算概要

事業環境及び当社の状況について

建設事業

公共工事	<ul style="list-style-type: none">・ 上半期であり発注量はそれほど多くない・ 入札競争は一層厳しくなっている・ 技術職員の配置に苦慮する場面がある
民間工事	<ul style="list-style-type: none">・ 市場環境、案件のボリュームは変わらない・ 資機材高騰などで見積り競争が激化している・ ゼネコン、デベロッパーとの取引が拡大している

製造・販売部門

製品・製造	<ul style="list-style-type: none">・ 市場環境に特段の変化はない・ 原油価格高騰、為替の円安が継続し、製造原価増加・ 回復傾向にあるが、上記懸念があり先行きは不透明
-------	---

決算のポイント

連結売上高 14,107百万円 (前期比 +3.9%)

- ： 建設事業は堅調に手持工事を進捗させ、製造・販売事業も繰越案件の出荷を伸ばし、前期比「増収」

連結営業利益 31百万円 (前期比 +178.1%)

- ： 建設事業は資機材高騰等で苦戦したが、製造・販売事業は、前期から続く原油価格の高騰部分について一定の価格転嫁が進み利益改善し、前期比「増益」

受注高（個別） 14,648百万円 (前期比 Δ 8.9%)

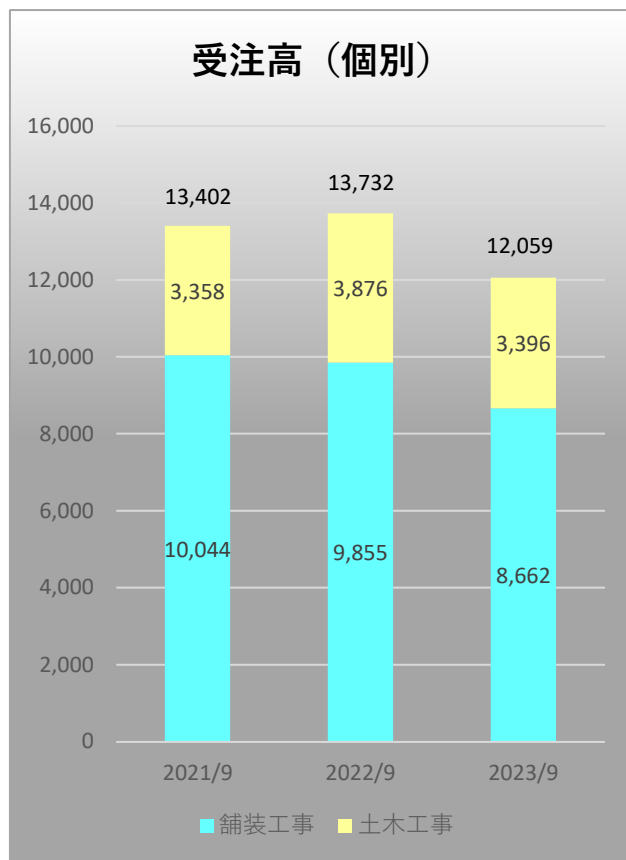
- ： 製造・販売事業においては前期比増となったが、建設事業においては大型民間工事の受注が遅れており、前期比「減少」

決算概要

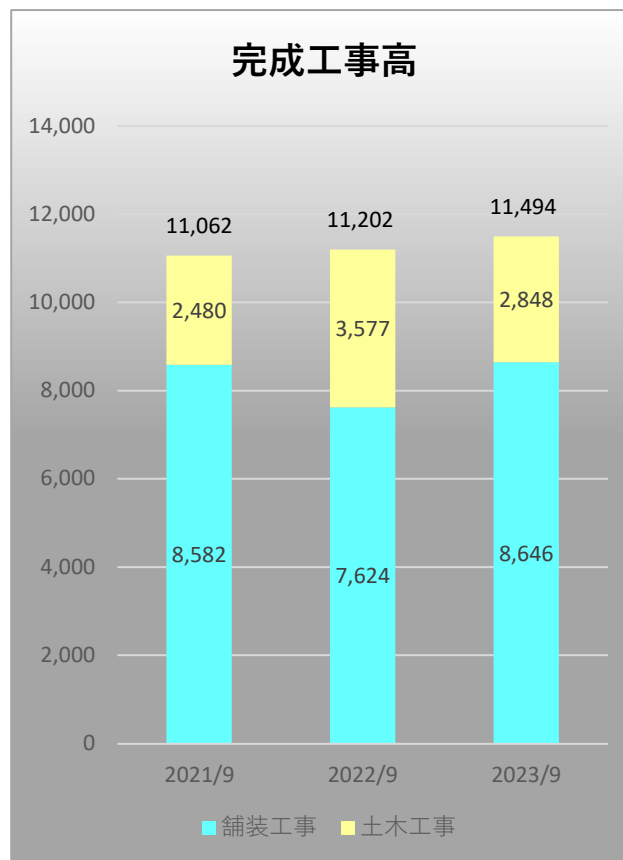
単位：百万円	2023/3期 第2四半期	2024 / 3期 第2四半期			
		実績	前期比	2023/5 通期予想	進捗率
連結売上高	13,584	14,107	3.9%	32,400	43.5%
連結営業利益	△ 40	31	178.1%	1,110	2.8%
連結経常利益	△ 36	57	256.1%	1,110	5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	△ 41	15	136.7%	680	2.2%
受注高 (個別)	16,084	14,648	△ 8.9%	32,400	45.2%

セグメント別の業績推移 【建設事業】

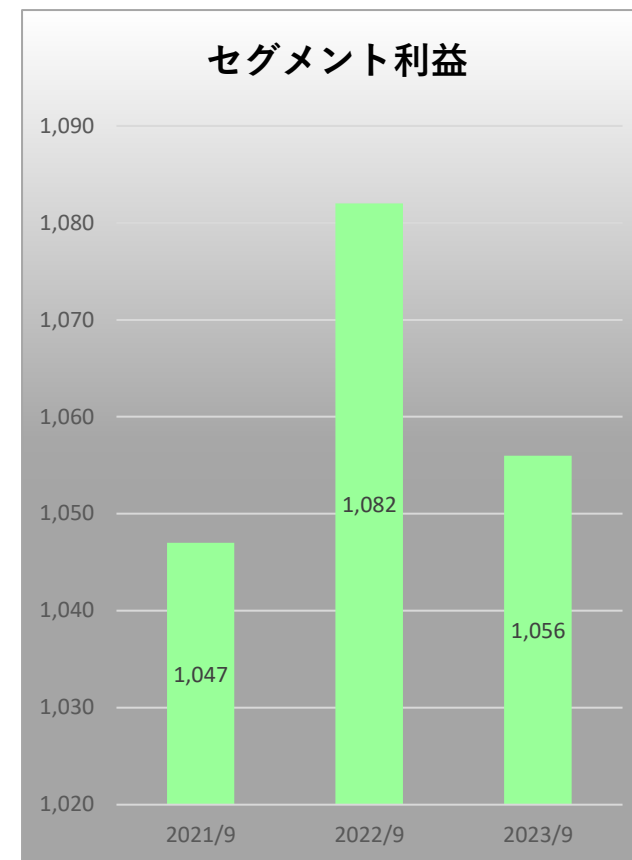
〔単位：百万円〕



※舗装、土木工事ともに受注が遅れぎみ



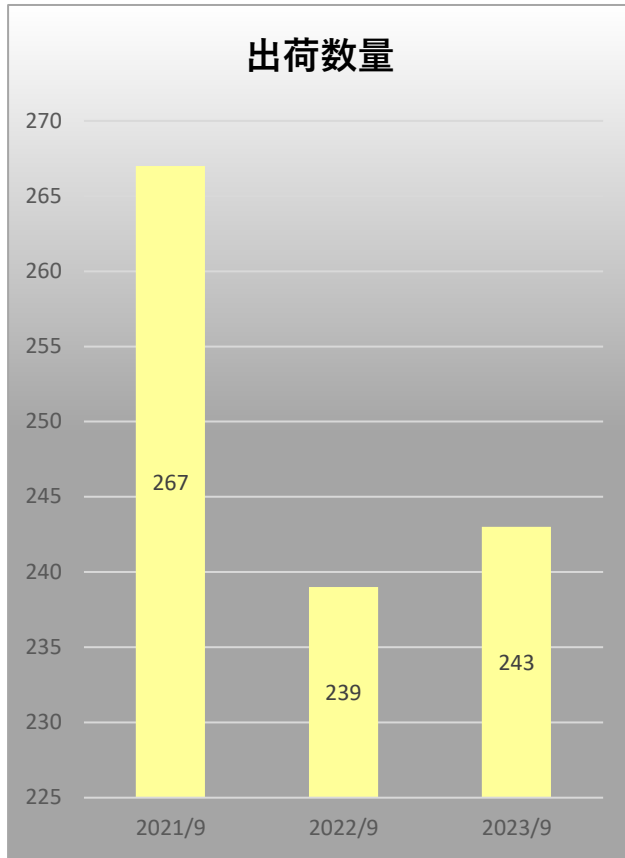
※大型工事の進捗が堅調に推移



※材料、外注費の高騰等で工事利益減

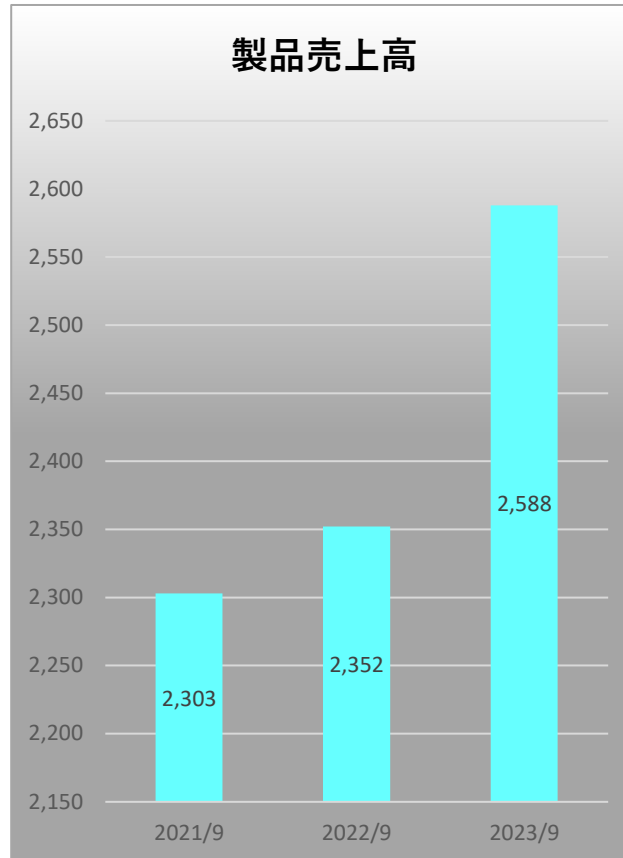
セグメント別の業績推移 【製造販売事業】

〔単位：千 t〕

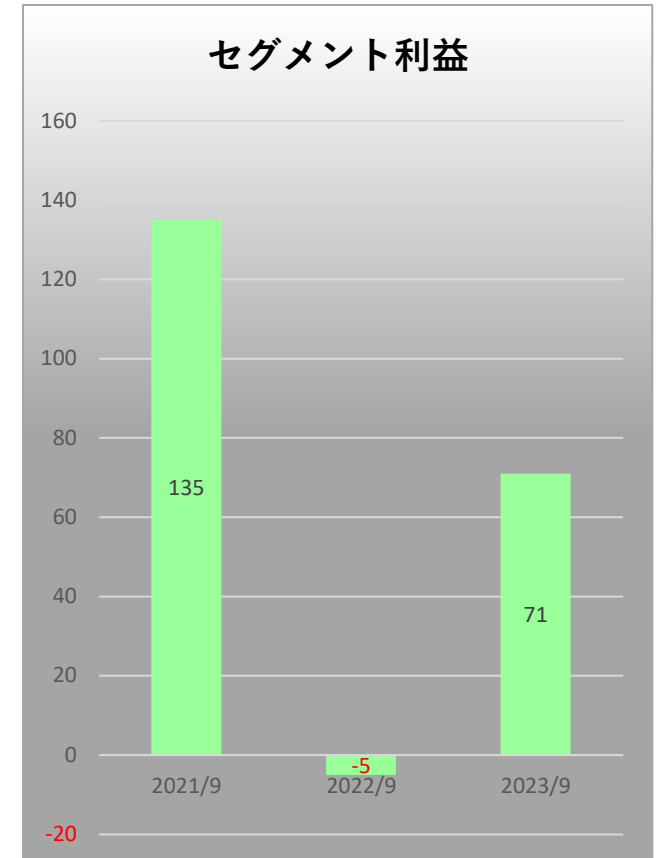


※市場環境に大きな変化はない

〔単位：百万円〕



※繰越案件の出荷等が進み売上が伸長



※原油価格は不透明だが一定の価格反映

2. 決算詳細説明

連結貸借対照表

単位：百万円

	2022/9末 ①	2023/9末 ②	増減 ②－①	備 考
流動資産	17,679	18,246	566	現金の増加 +925 受取手形の増加 +279 完工未収金の減少 △656
固定資産	6,564	7,150	585	設備投資等による増加
資産合計	24,244	25,396	1,152	
流動負債	9,415	10,220	805	電子記録債務の増加 +416 買掛金の増加 +100 未払金の増加 +239
固定負債	2,163	2,096	△ 67	
負債合計	11,579	12,317	737	
純資産	12,665	13,079	414	利益剰余金の増加 +364
自己資本比率 (%)	52.2	51.5	△ 0.7	
負債純資産合計	24,244	25,396	1,152	

連結キャッシュフロー

単位：百万円

	2022/9末①	2023/9末②	増減②－①
現金同等物期首残高	9,663	10,713	1,049
営業活動によるCF	△ 384	△ 298	86
投資活動によるCF	△ 346	△ 510	△ 163
財務活動によるCF	△ 286	△ 334	△ 47
現金同等物期末残高	8,645	9,570	925

【営業活動CF】 ・ 受注減少による未成工事受入金の減少

【投資活動CF】 ・ 有形固定資産取得による支出の増加

【財務活動CF】 ・ 増配による配当金支払額の増加

当期純利益の増減要因

〔単位：百万円〕

〔2023/9月期〕

15

今年度
当期純利益

+21
営業外収益
の増加

+25
販管費
の減少

+72

製造・販売
事業等の
利益の増加

△8
特別損失の
増加

△27
法人税等の
増加

△26
建設事業
利益の減少

△41
前年度
当期純損失

△41

〔2022/9月期〕

3 . 業 績 予 想

2024年3月期業績予想

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
連 結	32,400	1,110	680	74.42
個 別	32,000	1,100	680	74.42

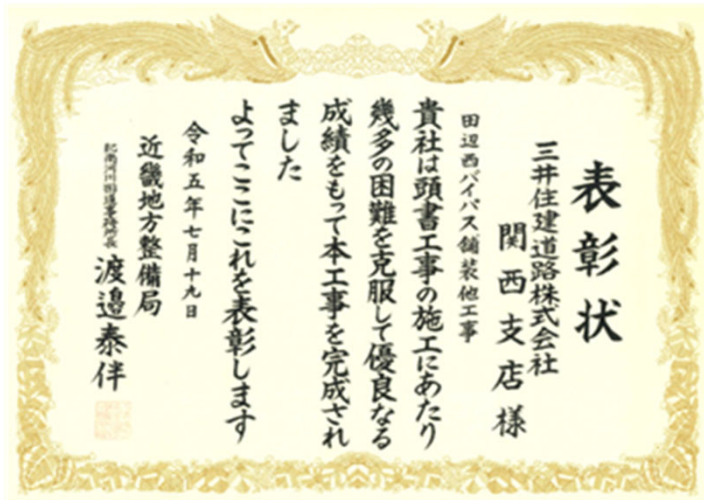
株 主 還 元

	配当金	配当性向
2024年3月期（予想）	1株当たり40円	50%程度

4. その他

TOPICS

表彰者 国土交通省近畿地方整備局
紀南河川国道事務所 様
表彰内容 優良工事表彰
対象工事 田辺西バイパス舗装他工事



表彰者 中日本高速道路株式会社 様
表彰内容 安全工事表彰
対象工事 首都圏中央連絡自動車道（外回り）
横浜管内舗装補修工事

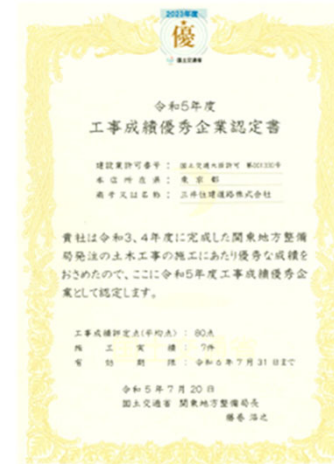


TOPICS

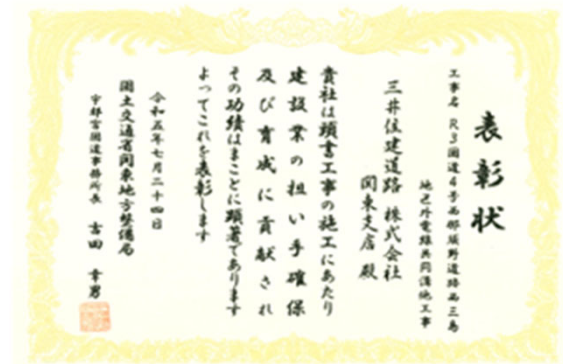
表彰者 国土交通省関東地方整備局 様
表彰内容 R4年度安全管理優良受注者表彰



表彰者 国土交通省関東地方整備局 様
表彰内容 優良工事等表彰



表彰者 国土交通省関東地方整備局
宇都宮国道事務所 様
表彰内容 担い手確保・育成工事
対象工事 R3国道4号西那須野道路西三島地区外
電線共同溝他工事



表彰者 国土交通省関東地方整備局
大宮国道事務所 様
表彰内容 難工事功労表彰
対象工事 R3熊谷国道出張所管内舗装修繕他工事



環境負荷低減、CO2削減への取り組み

フォームドアスファルト技術

特殊な装置を使い、水や発泡補助剤等を噴射して、アスファルト中に微細な泡を発生させるもので、この技術を用いることにより、品質や施工性を損なうことなく、環境負荷の低減が期待できる

利用効果、負荷低減

①地球環境への貢献

製造温度が低く、CO2排出量を従来比15%程度削減できる

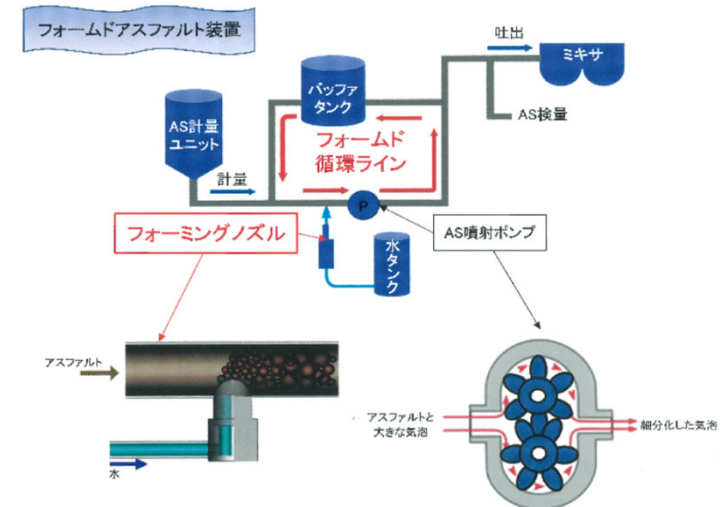
②品質の向上

アスファルトの劣化を抑制し、持続的な再生が期待できる

③施工環境の改善

施工時間の縮減や作業に関わるCO2排出量削減が可能となる

当社は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一つとして、アスファルト合材工場へのフォームドアスファルト技術の導入を推進してまいります



導入工場：朝霞共同アスコン（埼玉県）



新規製造販売拠点のご紹介



工場名：大牟田合材工場

所在地：福岡県大牟田市健老町456-1

稼働開始：2023年5月22日

敷地面積：約13,000㎡

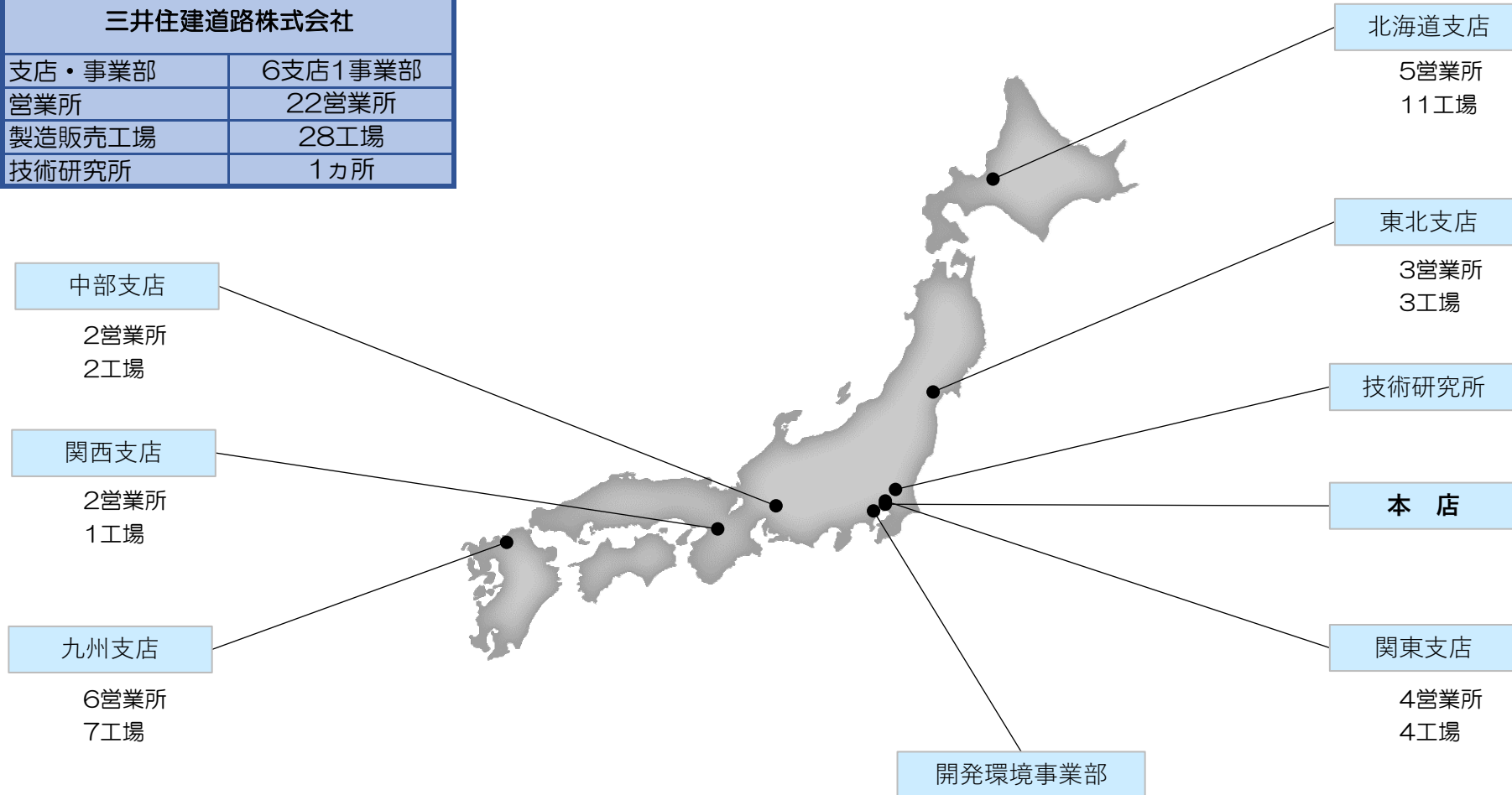
生産能力：AS合材 90t/h 破碎処理 80~100 t/h

- 特徴
- 新規設備で省エネECOプラント
 - 使用燃料は天然ガス由来のGTL燃料
 - 太陽光発電の電力を自家消費
 - フォームドアスファルト装置設置で低炭素混合の製造に対応



事業拠点位置図

三井住建道路株式会社	
支店・事業部	6支店1事業部
営業所	22営業所
製造販売工場	28工場
技術研究所	1カ所



お問合せ先
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目24番1号
西新宿三井ビル
三井住建道路株式会社 管理本部
電話：03-6258-1563
FAX：03-6258-1567

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれております。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざま重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。